

伊藤 ふみや

2025.11
VOL. 01



1年目の学びと、

これからの挑戦

市議会議員になって4回目の議会が終わりました。議会は3ヶ月ごと（3月、6月、9月、12月）に開催され、当選してすぐの12月議会から始まり、今回9月議会で一年の流れを知ることができました。最初は戸惑うことも多く、実際に何をやっているのか分からないこともありましたが、一連の流れを経験することができました。常任委員会では福祉保健委員会の副委員長を、特別委員会では最終処分場に関する調査特別委員会の委員長を務めています。

市議会議員になったことで、地域の方から様々なご相談をいただきます。NPO法人での福祉の経験を活かし、不登校、障害者支援、ひきこもり支援などを中心に取り組んでいますが、関心の幅を広げ、地域の要望や困りごとにもしっかり取り組んで対応していきたいと思えます。

定期的に議会ごとにチラシを作成し、活動を発信してまいります。何かあればお気軽にご連絡ください。



一般質問の映像が
ご覧いただけます



今回の9月議会では、ひきこもり状態にある方たちへの支援について質問・提案しました。

つくば市では令和2年と令和6年に実態調査を実施。国の統計から推計すると、つくば市には約3,400人のひきこもり状態の方がいるとされますが、民生委員の調査で把握できたのは103人でした。把握された方の67.4%が10年以上の長期化状態で、65.1%が親の経済支援に依存する「8050問題」の実態が明らかになりました。

現在の相談件数は年間38件で増加傾向にありますが、本人からの相談は少なく、家族からの相談が多いのが現状です。推計人数と実際の支援につながる人数との大きな格差が課題となっています。

私からは2つの提案をしました。

提案1 国のひきこもりサポート事業の活用

全国150以上の自治体が行う国の支援制度で、事業費の2分の1が国から補助されます。つくば市は既に要件を満たしており、民間事業者への委託により専門性の高い支援が可能になります。SNSを活用した普及啓発や相談事業の充実が期待できます。

提案2 超短時間雇用の創出

東京大学のプロジェクトから始まり、川崎市、神戸市、港区などで導入されている取り組み。週1時間からでも働ける環境を整備し、段階的な社会復帰を支援します。企業の特定業務ニーズとのマッチングにより、双方にメリットを生み出します。

市長からは「新たな選択肢として有効。先行事例を調査研究していく」との前向きな答弁をいただきました。

ひきこもり支援は様々な人の働き方・生き方・暮らし方に関する重要な取り組みです。実現に向けて継続して取り組んでまいります。

委員会

福祉保健委員会の副委員長と最終処分場に関する調査特別委員会の委員長を務めています

常任委員会

福祉保健委員会



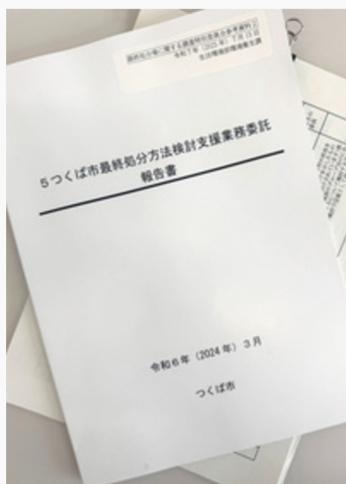
千葉・長崎・福岡への視察を実施しました。

千葉では「放課後アフタースクール」の先進事例を視察。学校施設全体を活用した学童保育で、つくば市でも沼崎小学校で開始され、今後市内に順次拡大予定です。従来の別敷地での学童保育から、学校全体を活用する新しい取り組みで、子どもたちにとって多くのメリットがあります。

長崎では全天候型の子どもの遊び場、福岡では「あいくる」という家族で過ごせる複合施設を視察し、子育て支援環境の充実について学びました。

特別委員会

最終処分場に関する調査特別委員会



メンバーが大幅に入れ替わった委員会において、これまでの経緯を共有し、つくば市のごみ処理の現状について理解を深めるための勉強会を実施しました。勉強会では、最終処分場が設置されていない背景や、他自治体との広域処理の現状、今後の課題などについて、委員全員で情報を共有し、議論を行いました。10月・11月には他自治体の施設視察を予定しており、先進事例を学ぶ機会としたいと考えています。

市民の皆様にとって重要な問題ですので、しっかりと情報をお伝えしてまいります。

地域の活動にも取り組んでいます



並木幼稚園跡地の利活用

休園状態が続く並木幼稚園について、複数の議員で執行部と利活用の話し合いを進めています。今後、地域の皆様のご意見を伺いながら活用方法を検討してまいります。ご要望があればお気軽にお聞かせください。



大角豆地区の排水問題

雨が降ると水が溜まってしまう箇所について、排水路整備の要望をしています。来年度予算での対応を求めており、地域の困りごとをしっかりと市に伝える活動を続けています。



障害者余暇支援の取り組み

筑波大学の澤江先生と共に、障害のある人たちの余暇のあり方を検討するグループで継続的に議論しています。より良い制度づくりに向けて、障害福祉課とも連携して取り組んでいます。



フリースクール視察

つくば市内全校に設置されている校内フリースクールを視察し、不登校支援制度の現状と課題を確認しています。現場の声を聞きながら、より良い支援のあり方を検討しています。

皆さんの声を聞かせてください！



support@itofumiya.com



伊藤 ふみや PROFILE



1988年5月31日生まれ。筑波大学理工学群化学類に進学。議員インターンシップを通じて、現つくば市長五十嵐立青のもとで活動し、農業と福祉の問題に取り組む。大学卒業後、五十嵐とともにNPO法人つくばアグリチャレンジ（現NPO法人ユアフィールドつくば）を設立し、ごきげんファームをスタート。現在は4カ所のごきげんファームに加えて、障害のある人たちのグループホームを展開。世界の傑出した10人の若者として国際青年会議所のTOYP（Ten Outstanding Young Persons）を受賞。社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、保育士、中小企業診断士の資格を持つ。スクールソーシャルワーカーとして活動経験があり、現在は保護司として活動している。つくば市並木在住。2024年つくば市議会議員選挙で初当選。現在、福祉保健委員会の副委員長と最終処分場に関する調査特別委員会の委員長を務める。

SNSでも
情報発信中！



note

